

「第66回 カンヌ国際映画祭」コンペティション部門 出品作品 映画『恋するリベラーチェ』 11月1日、新宿ピカデリーほか全国ロードショー決定！

株式会社 東北新社（東京都港区・植村徹社長）は、アカデミー賞受賞監督で、本作を撮り終えた後、長期休暇に入ると宣言したスティーヴン・ソダーバーグの最新作『恋するリベラーチェ』（原題『Behind the Candelabra』）を配給し、11月1日より新宿ピカデリーほか全国にて公開いたします。

本作品は、1950～70年代に“世界で最も稼ぐエンターテイナー”といわれ、派手な衣装とパフォーマンスで一世を風靡したピアニスト、リベラーチェの晩年を描いた話題作です。

主人公のリベラーチェを『ウォール街』でアカデミー賞とゴールデングローブ賞を受賞したマイケル・ダグラス、同性愛者であった彼の恋人スコット・ソーソンを『グッド・ウィル・ハンティング / 旅立ち』でアカデミー賞とゴールデングローブ賞を受賞したマット・デイモンが演じています。

本年5月に開催された「第66回 カンヌ国際映画祭」では、コンペティション部門でプレミア上映され、大好評を博しました。また、本年7月18日に発表された「第65回エミー賞」のノミネート発表では、ミニシリーズ／ムービー部門において、「作品賞」、「主演男優賞（マイケル・ダグラス／マット・デイモン）」、「監督賞」、「脚本賞」ほか合計14部門で15ノミネートされています。

配給は株式会社東北新社が行い、株式会社スター・チャンネルが特別協賛をし、11月1日より新宿ピカデリーほか全国にて公開いたします。



(C) 2013 Home Box Office, Inc. All Rights Reserved

ストーリー

名ピアニストであり、斬新奇抜なエンターテイナー、そして舞台やテレビでは派手な衣装に身を包むスターであるリベラーチェ（マイケル・ダグラス）。1977年の夏、彼はラスベガス・ヒルトンの楽屋でハンサムな青年スコット・ソーソン（マット・デイモン）に出会う。それは、年齢も住む世界も異なる2人の5年におよぶ秘められた関係の始まりだった…。

キャスト

マイケル・ダグラス（『ウォール街』、『ブラック・レイン』）
 マット・デイモン（『グッド・ウィル・ハンティング / 旅立ち』、『インビクタス / 負けざる者たち』）
 ダン・エイクロイド（『ドライビング Miss デイジー』、『ゴーストバスターズ』）
 スコット・バクラ（『アメリカン・ビューティー』、『海辺の家』）
 ロブ・ロウ（『ザ・ホワイトハウス』(テレビドラマ)、『サンキュー・スモーキング』）
 デビー・レイノルズ（『雨に唄えば』、『不沈のモリー・ブラウン』）

スタッフ

監督：スティーヴン・ソダーバーグ（『セックスと嘘とビデオテープ』、『オーシャンズ 11』）
 製作：ジェリー・ワイントロブ（『ベスト・キッド』、『アベンジャーズ』）
 脚本：リチャード・ラグラヴェネーズ（『フィッシャーキング』、『マディソン郡の橋』）
 製作：HBO / 2013年 / アメリカ / 英語 / 118分 / カラー / ハイビジョン / 原題『Behind the Candelabra』
 配給：東北新社 / 特別協賛：スター・チャンネル

東北新社会社概要

代表者：植村 徹
 設立：1961年4月1日
 資本金：24億8,700万円
 事業内容：総合映像プロダクション
<http://www.tfc.co.jp/>